

患者様へ

この紙は、処方箋と一緒に調剤薬局へお渡し下さい

施設間情報連絡書

保険薬局 御中

頭痛専門医療機関連携薬局☆御中



山口クリニック

☆頭痛専門医療機関連携とは厚生労働省が指導している専門医療連携に準ずる医療体制構築を目的とするものですが、現時点では厚生労働省が認定する専門医療連携薬局ではありません。

下記☐についての服薬指導をお願いいたします

また、裏面のトレーシングレポートを用いた情報提供をお願いいたします

できれば、処方の約2～4週間後の状況をご報告をお願いいたします

診断名

- | | | |
|---------------------------------------|-----------------------------------|--------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 片頭痛 | <input type="checkbox"/> 緊張型頭痛 | <input type="checkbox"/> 群発頭痛 |
| <input type="checkbox"/> 頭部神経痛/その類似疾患 | <input type="checkbox"/> その他のTACs | <input type="checkbox"/> 薬物使用過多による頭痛 |
| <input type="checkbox"/> () | <input type="checkbox"/> () | <input type="checkbox"/> () |

片頭痛治療薬の服薬指導

※下記☐の通りご指導をお願いいたします

頓用薬

- ・ 発症後できるだけ早期に内服すること
- ・ トリプタン製剤・ラスミジタン・NSAIDs・アセトアミノフェンは全て同時内服可能だが、これらは0.5～1時間づつずらして各々の薬効を確認しても良い
- ・ 制吐剤・筋弛緩薬・漢方薬・抗不安薬etc.も、発症すれば即内服可能
- ・ 複数のトリプタンを使用する場合も、ナラトリプタン内服後は4時間、その他は2時間空ける
- ・ スマトリプタン点鼻液は鼻汁の少ない方の鼻腔に投与（マニュアル通りのご指導もお願いします）
- ・ ラスミジタンは、めまい・傾眠等の副作用が出やすいが、数回使用すると慣れることがある
- ・

予防薬

- ・ 症状の有無にかかわらず、毎日定期的に内服（頓用薬と同時内服となっても構わない）
- ・ 内服開始後2週間～数ヶ月で治療効果判定（無効な場合は中止or増量）
- ・ 有効な予防薬は半年～1年半は継続してから中止を検討予定
- ・

※上記のほか、一般的なマニュアル通りのご指導もお願いします

※群発頭痛に対する予防療法に関して不明な時には、クリニックまで直接問い合わせるようご指導ください。

※ 山口クリニック作成の頭痛治療薬服薬指導の手引きをご希望の保険薬局さまは、ご連絡下さい。

Tel : 0798-63-9550 Fax : 0798-63-9551

